



おきぎん 経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2012年9月27日

各位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第49回おきぎん企業動向調査」
(2012年7~9月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：喜瀬

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2012年10~12月期見通し)
 ~第49回おきぎん企業動向調査(2012年7~9月期)調査結果より~

I. はじめに

1. 調査の結果

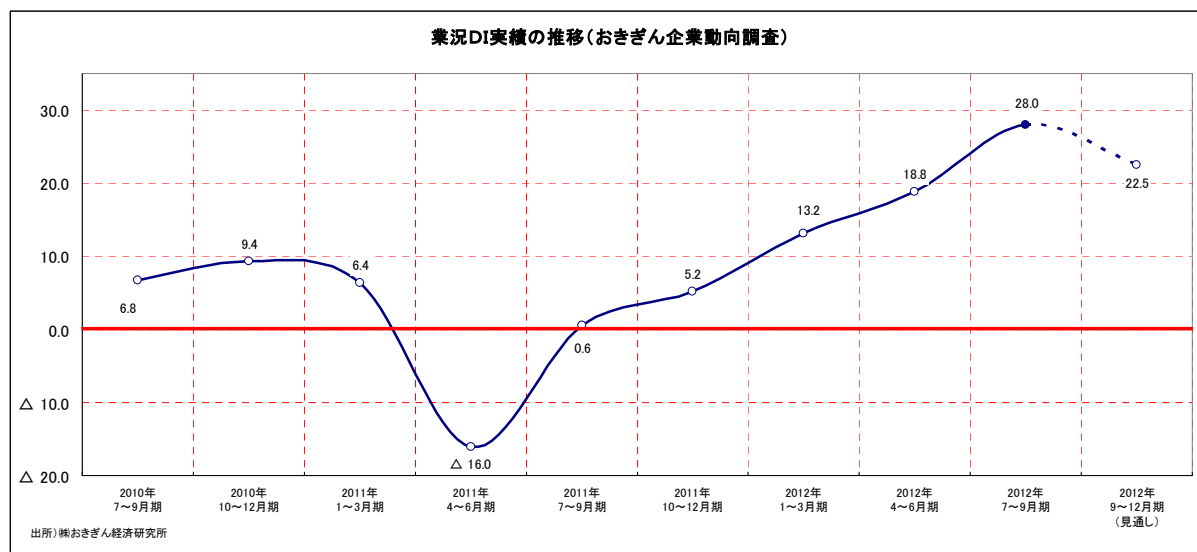
業況DIの推移

期間・結果	2011年		2012年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期(見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種計	0.6	5.2	13.2	18.8	28.0	22.5
製造業	△ 37.3	△ 2.0	4.1	2.0	23.4	22.9
土木業	△ 5.6	0.0	17.4	6.1	20.0	29.2
建築業	14.5	14.7	5.8	11.8	18.3	32.4
卸売業	△ 6.1	△ 2.2	7.1	20.0	22.5	20.8
小売業	10.7	7.9	27.9	26.8	43.3	7.7
情報通信サービス業	8.3	37.5	50.0	27.3	25.0	45.5
医療・福祉	25.0	29.6	33.3	17.6	25.0	17.9
その他サービス業(宿泊・飲食等)	0.0	5.9	△ 5.6	43.2	20.6	35.3
その他(不動産、運輸等)	4.6	△ 3.9	15.6	20.8	38.8	17.7

2012年7~9月期調査の業況DIは28.0(前年同期比)となりました。

業種別でみると、【製造業】、【土木業】、【建築業】、【卸売業】、【小売業】、【情報通信サービス業】、【医療・福祉】、【その他サービス業】、【その他】の全ての業種で「業況改善の動き」がみられます。

2012年10~12月期の業況見通しDIについては22.5となり、全業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



2. 調査の概要: 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2012年8月下旬～9月上旬
- b. 調査対象: 県内企業 437社
- c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)
⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

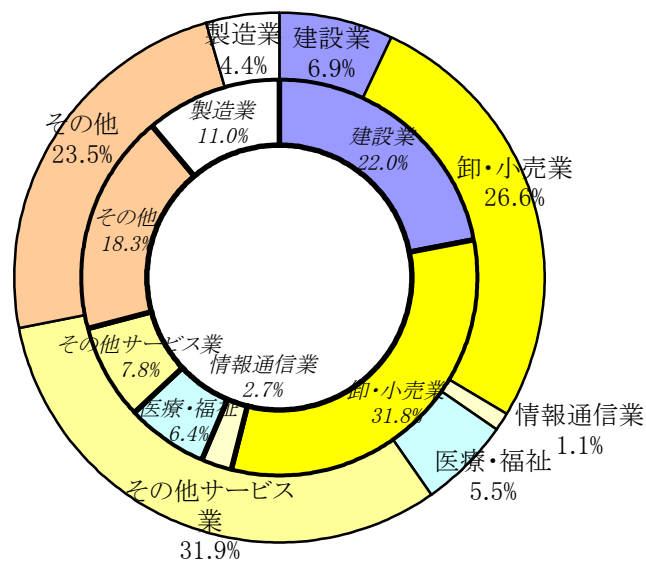
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

3. 調査対象企業の業種・所在地構成

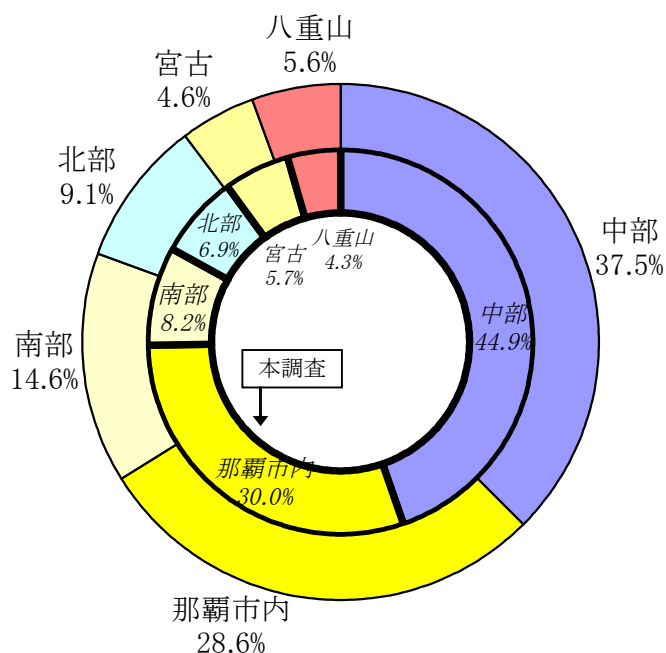
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2009年経済センサス基礎調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料) 総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、
本調査の事業所所在地構成(内円)



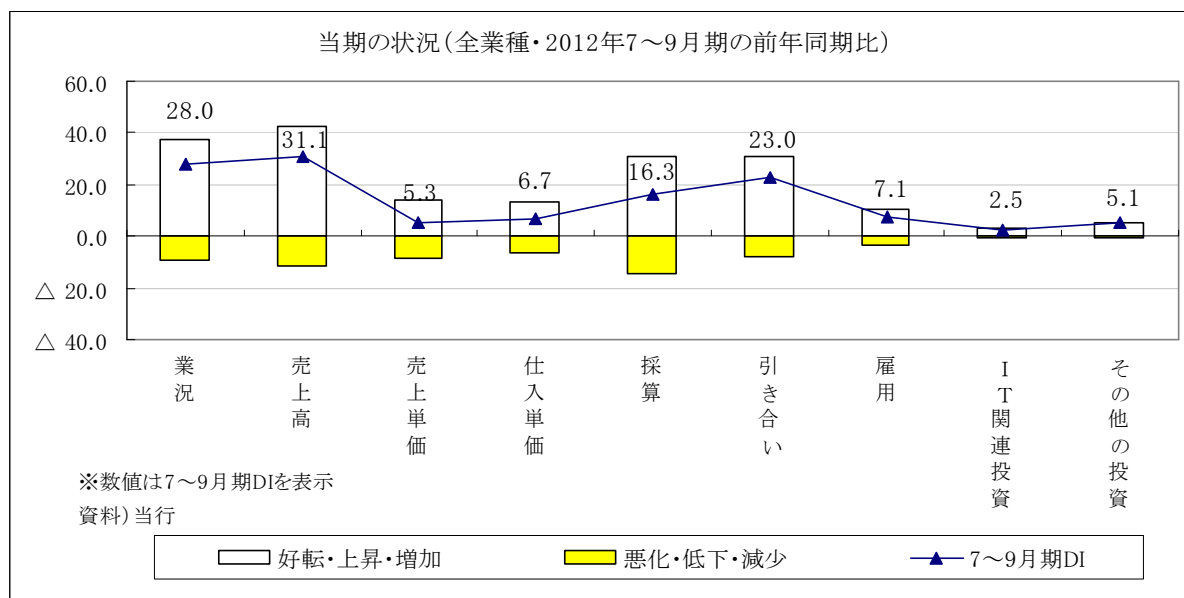
資料) 総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

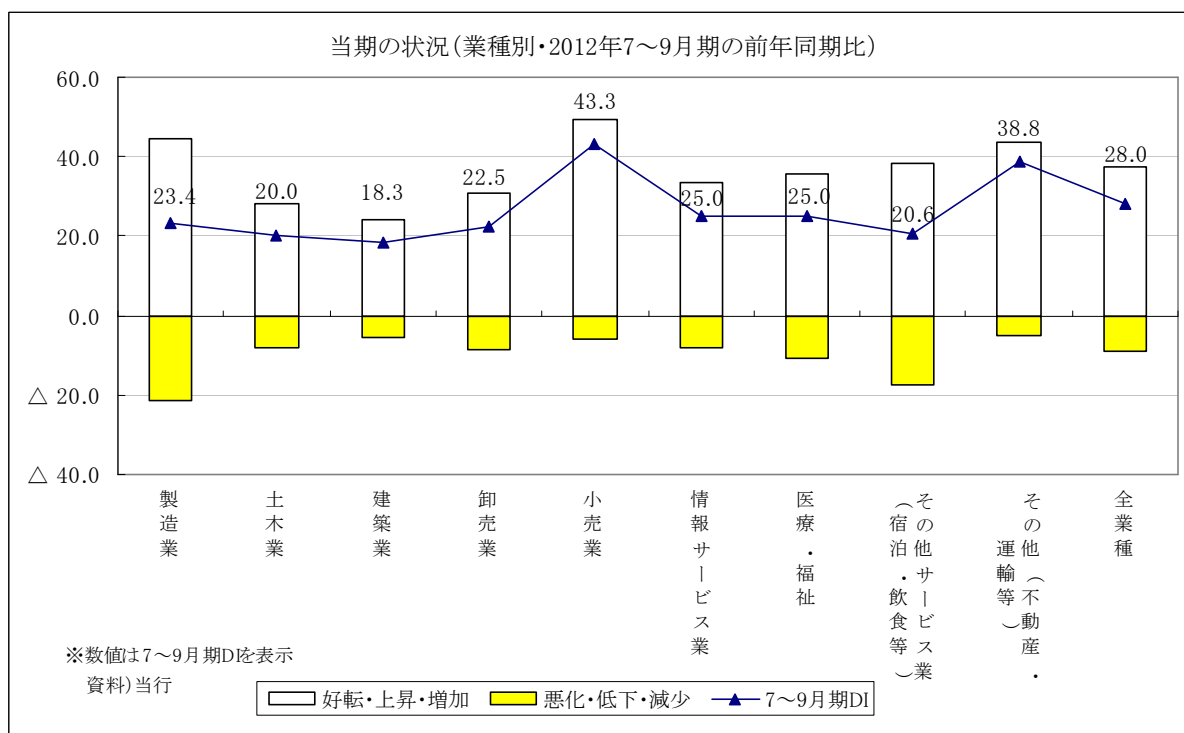
a. ①当期の状況(項目別・2012年7～9月期の前年同期比)

当期の業況DIを項目別で見ると、震災の影響がみられた前年同期と比較すると売上高(31.1)や引き合い(23.0)を始め、各分野で改善しています。一方で、原油高騰などにより仕入単価(6.7)も上昇しています。全体として**業況(28.0)改善の動き**がみられます。



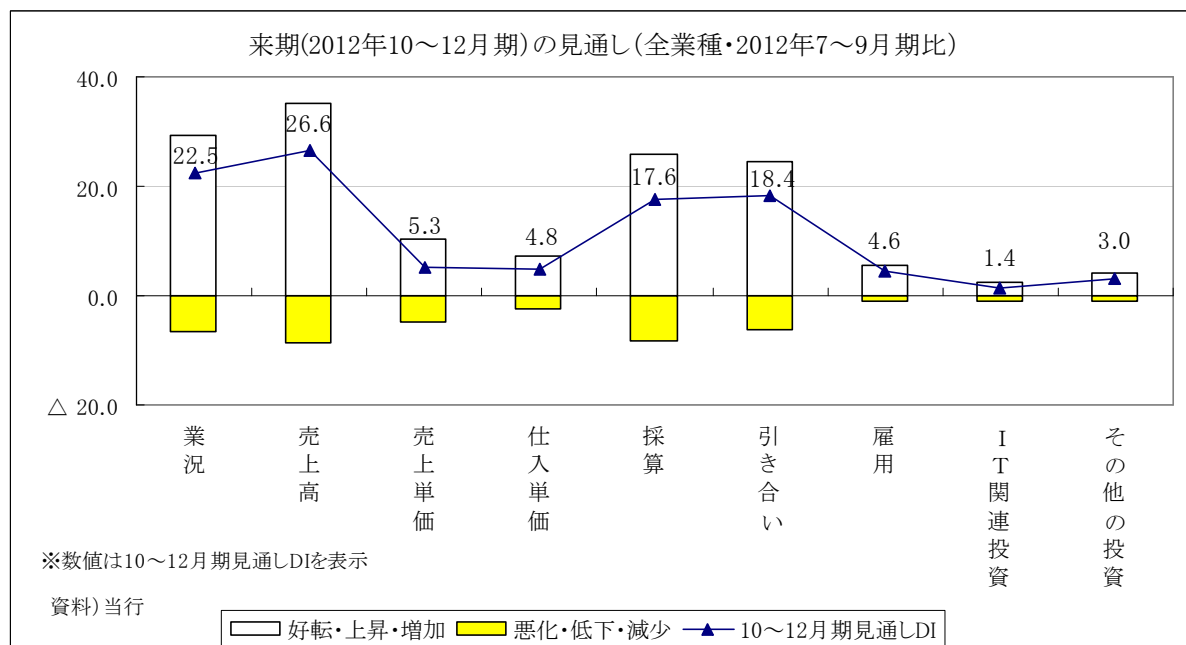
a. ②当期の状況(業種別・2012年7～9月期の前年同期比)

当期の状況を業種別で見ると、震災の影響が見られた昨年と比べ、今期は観光客が回復基調にあることや、エコカー補助金制度などにより自動車販売も好調であることなどから、【小売業】(43.3)が大幅に改善しています。他の全ての業種においても、**業況改善の動き**となりました。



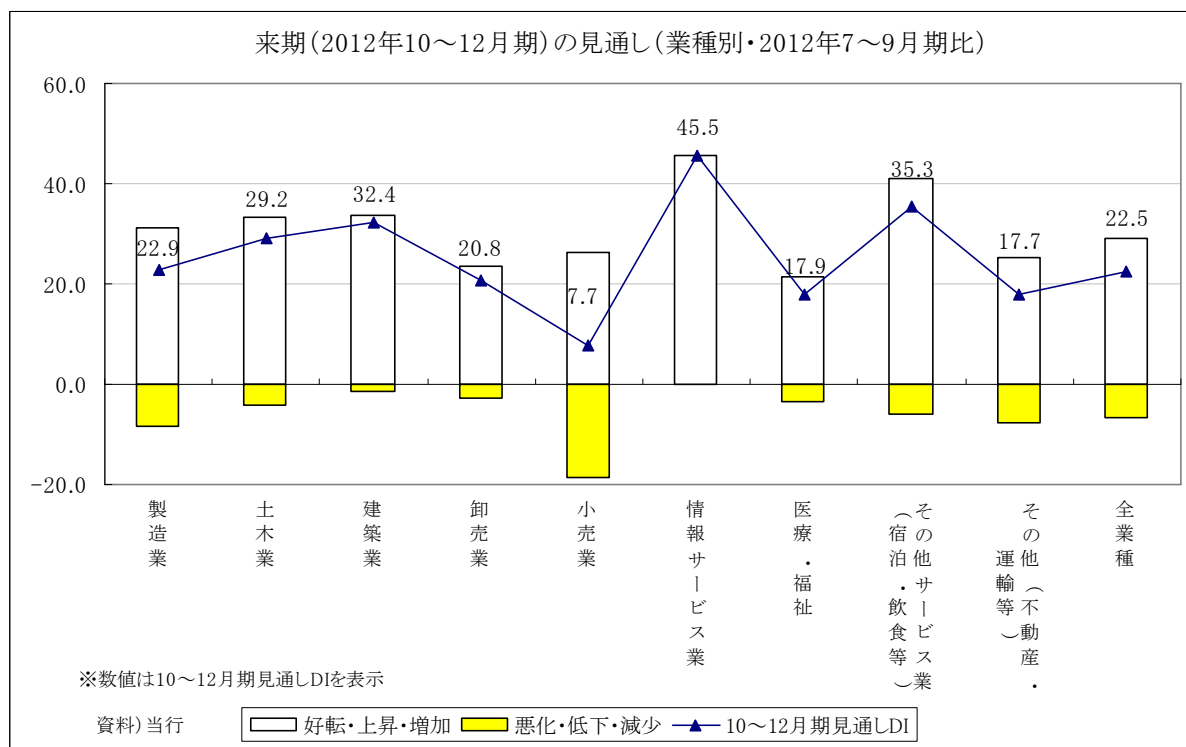
b.①来期の見通し(項目別・2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

来期(2012年10～12月期)の見通しDIを項目別でみると、修学旅行シーズンの到来、公共工事の発注増加、年末イベント(クリスマス、忘年会等)による消費活発化など、引き合い(18.4)の強さを見込みます。全ての項目で上向きとなり、全体(業況:22.5)として**業況改善の動き**が見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

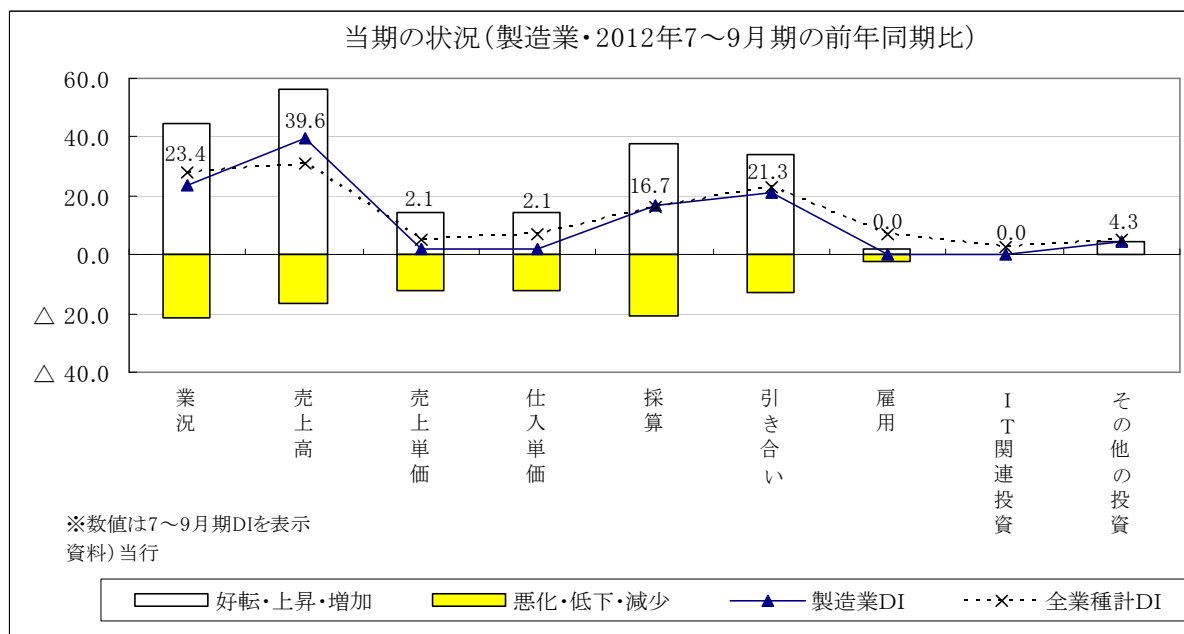
来期(2012年10～12月期)の見通しDIを業種別でみると、【**土木業**】(29.2)、【**建築業**】(32.4)、【**情報サービス業**】(45.5)、【**その他サービス業**】(35.3)などが全体DIを上回る業況の強さを見込み、全業種において**業況改善の動き**が見込まれます。



2. 製造業

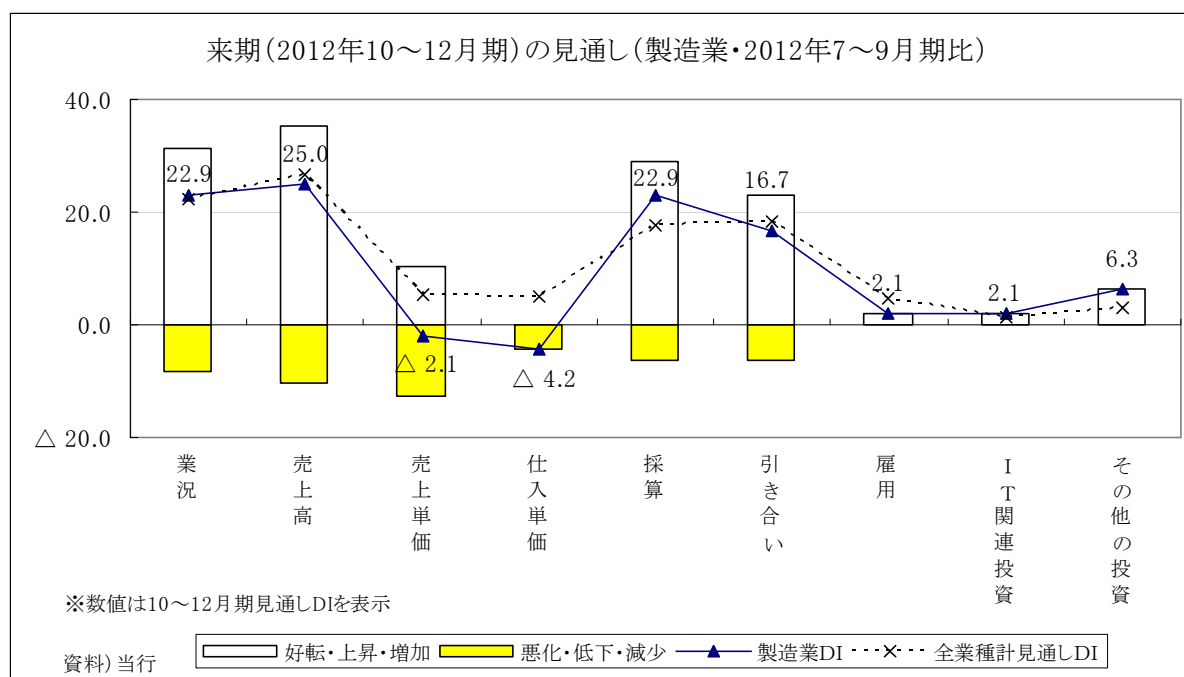
a. 当期の状況 (2012年7～9月期の前年同期比)

【製造業】DI をみると、観光需要の回復などから食品製造業や泡盛製造業などで売上高(39.6)や引き合い(21.3)の改善が見られます。一方で、価格面において業界内にて競合が激化しており、売上単価は僅かな改善となっています。売上高以外は各項目において全業種の DI を下回っているものの、製造業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

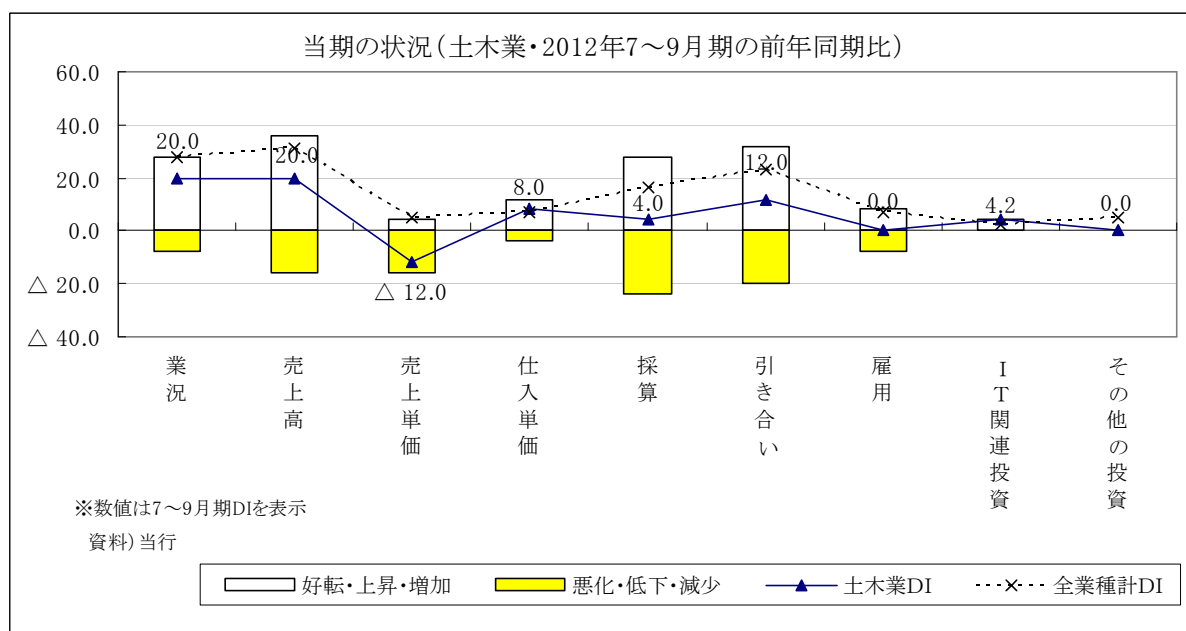
来期の見通し【製造業】DI をみると、食品製造業や泡盛製造業などで、年末のイベント需要(クリスマス、忘年会等)の高まりなどから売上高の改善を見込みます。建設向け出荷においても公共・民間工事ともに引き合いが増加することが期待されます。一方で、競争環境の厳しさが続くことから、売上単価は低下を見込んでいます。製造業全体として**業況改善の動き**がみられます。



3. 土木業

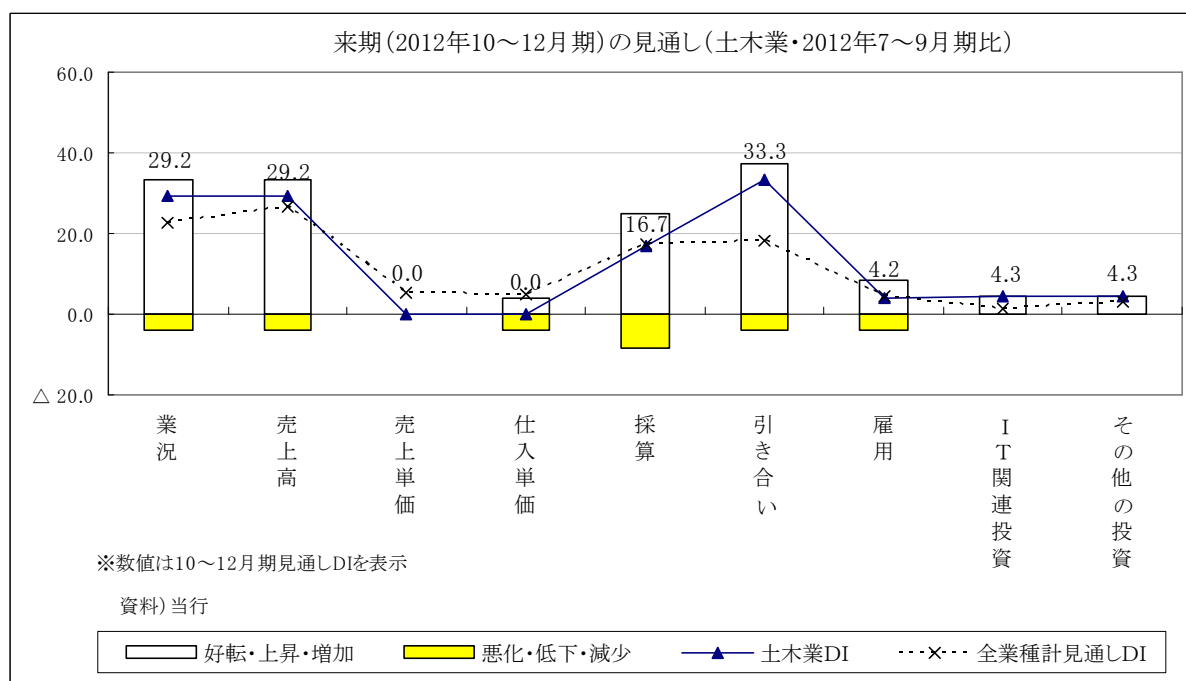
a. 当期の状況 (2012年7～9月期の前年同期比)

【土木業】DIをみると、基地関連工事などにより一部引き合いの強さが見られ、売上高も改善しています。一方で公共工事は年々減少傾向にあり、厳しい競争環境にあることから、売上単価は減少し、採算性が悪化している事業者も一部見られます。土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

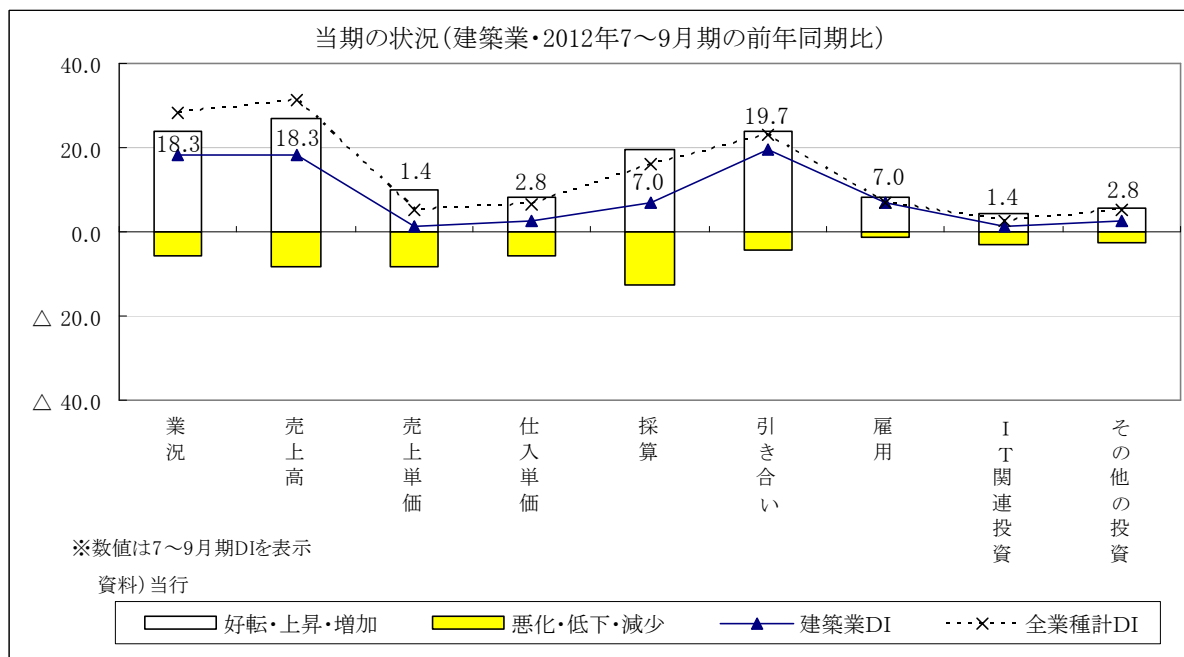
来期の見通し【土木業】DIをみると、厳しい受注環境は続くものの、年末にかけて公共工事の発注が増加するものと見込みます。また、営業強化や経費削減、人員の適正配置により採算性の改善を見込む事業者もあり、土木業全体として**業況改善の動き**がみられます。



4. 建築業

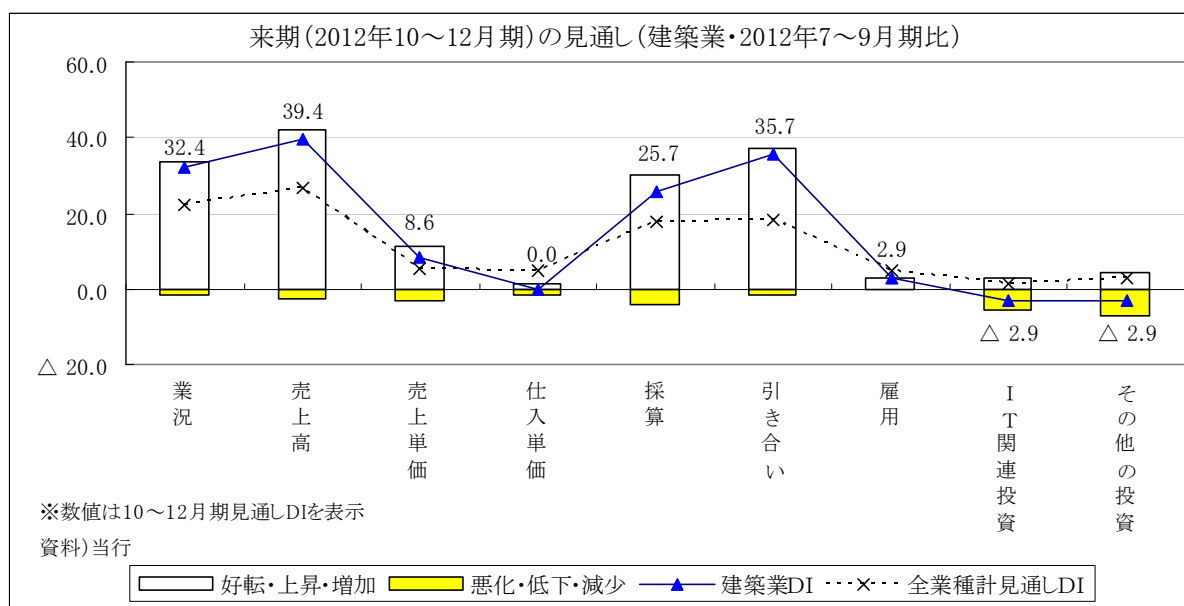
a. 当期の状況 (2012年7～9月期の前年同期比)

【建築業】DI をみると、公共工事は減少傾向が続いていますが、戸建住宅やアパート等の民間需要において引き合いは増加しており、一部では消費税増税前の建築需要もあります。また、太陽光設備設置工事や基地関連工事などの需要もあり、建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

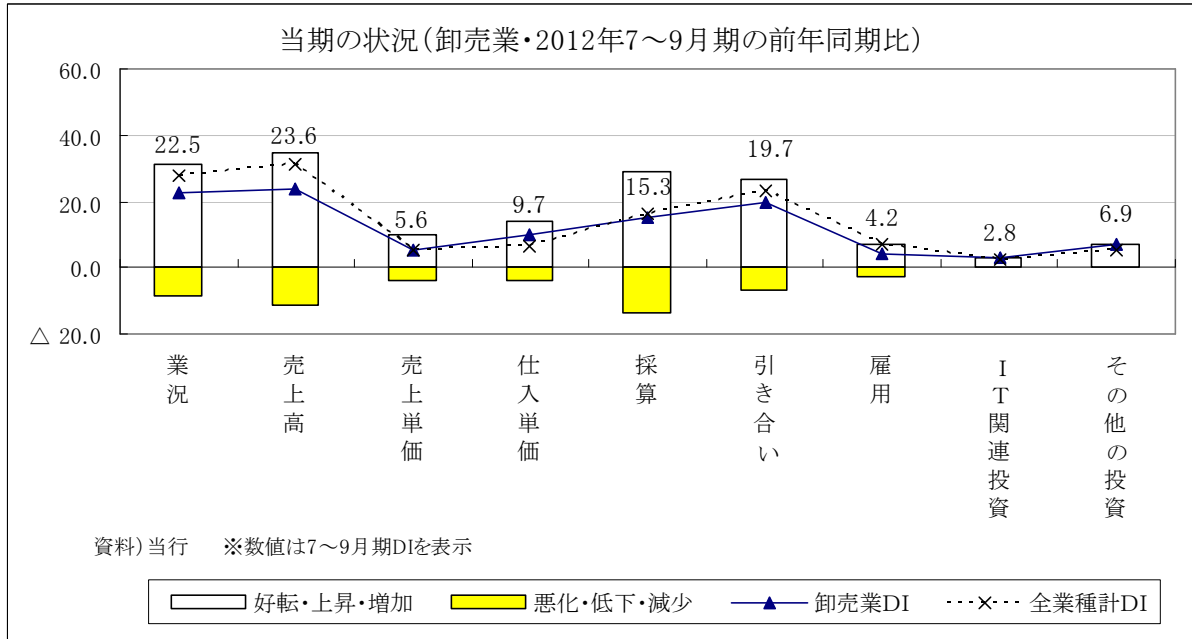
来期の見通し【建築業】DI をみると、土木業同様に年末にかけて公共工事の増加が期待されます。また、今後も消費税増税に伴う駆け込み需要などが予想され、引き続き住宅・アパートなどの民間工事の引き合いの強さが見込まれます。雇用や投資を控え、資金繰りの安定化を図る事業者も見られます。建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。



5. 卸売業

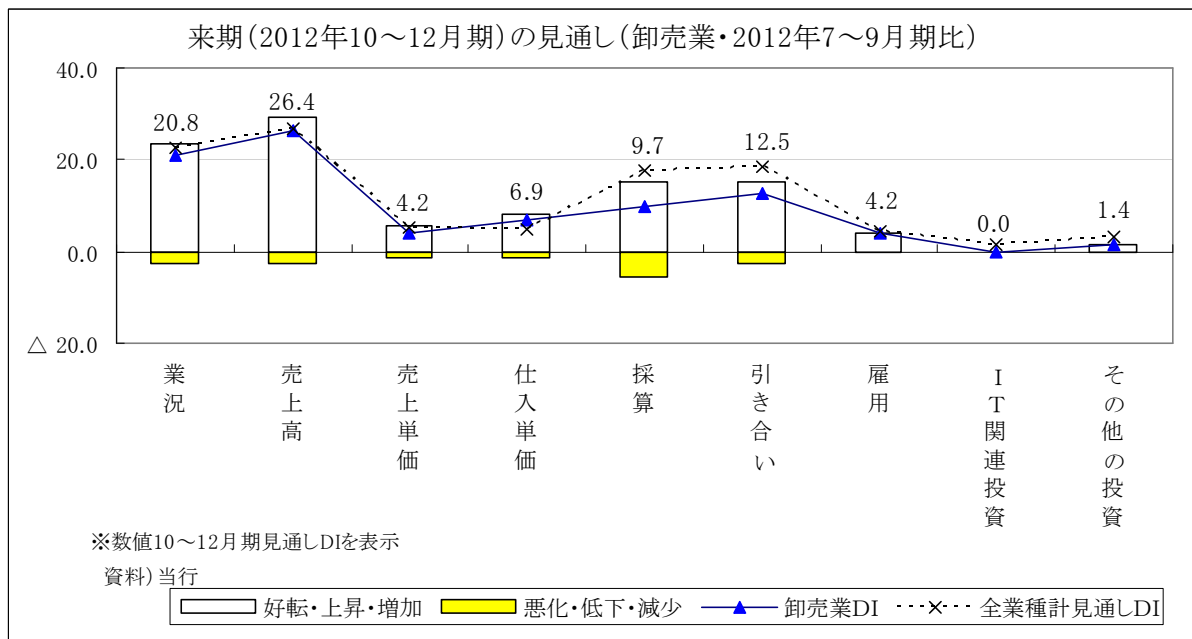
a. 当期の状況 (2012年7～9月期の前年同期比)

【卸売業】DI をみると、震災の影響があった前年に比べ仕入環境が安定し、売上高や採算は改善しています。また、建築業同様に民間工事(住宅、アパート等)の需要から、建設資材関連の引き合い増加がみられます。卸売業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

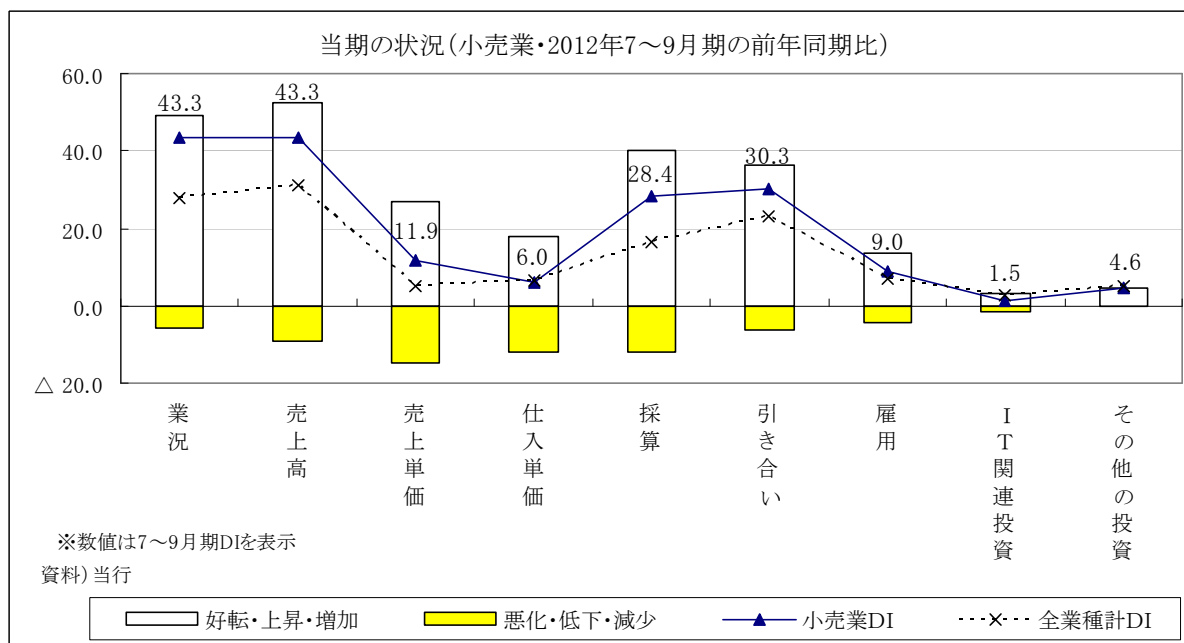
来期の見通し【卸売業】DI をみると、年末に向けた食品関連の需要増加が見込まれます。また土木業・建築業同様に公共工事の発注増加から、建設資材関連需要増加も期待されます。震災の影響から米穀業者などにおいて一部、仕入れ環境に厳しさが続く見込まれるものの、卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



6. 小売業

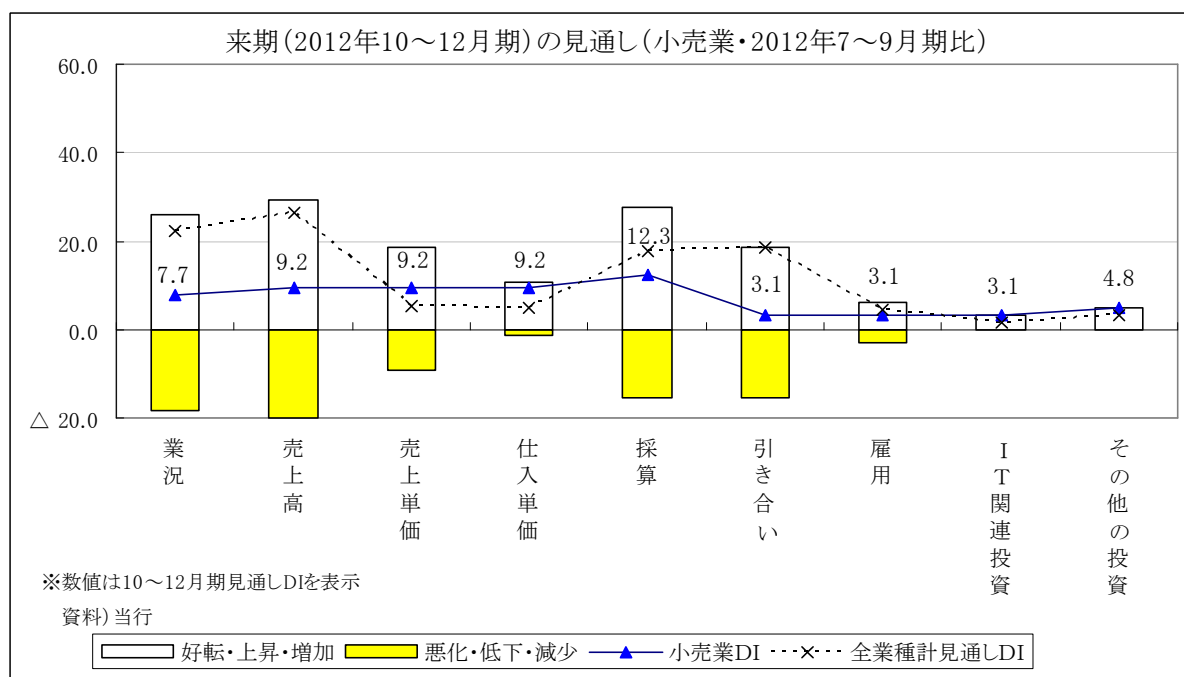
a. 当期の状況 (2012年7～9月期の前年同期比)

【小売業】DIをみると、新規出店効果によりスーパーやコンビニエンスストアが好転しています。また、観光需要の回復のほか、震災により悪化した仕入環境や消費マインド等の回復により、観光土産関連や衣料関連なども好転しています。エコカー補助金制度効果により自動車販売業も好転し、小売業全体では業況改善の動きがみられます。



b. 来期の見通し (2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

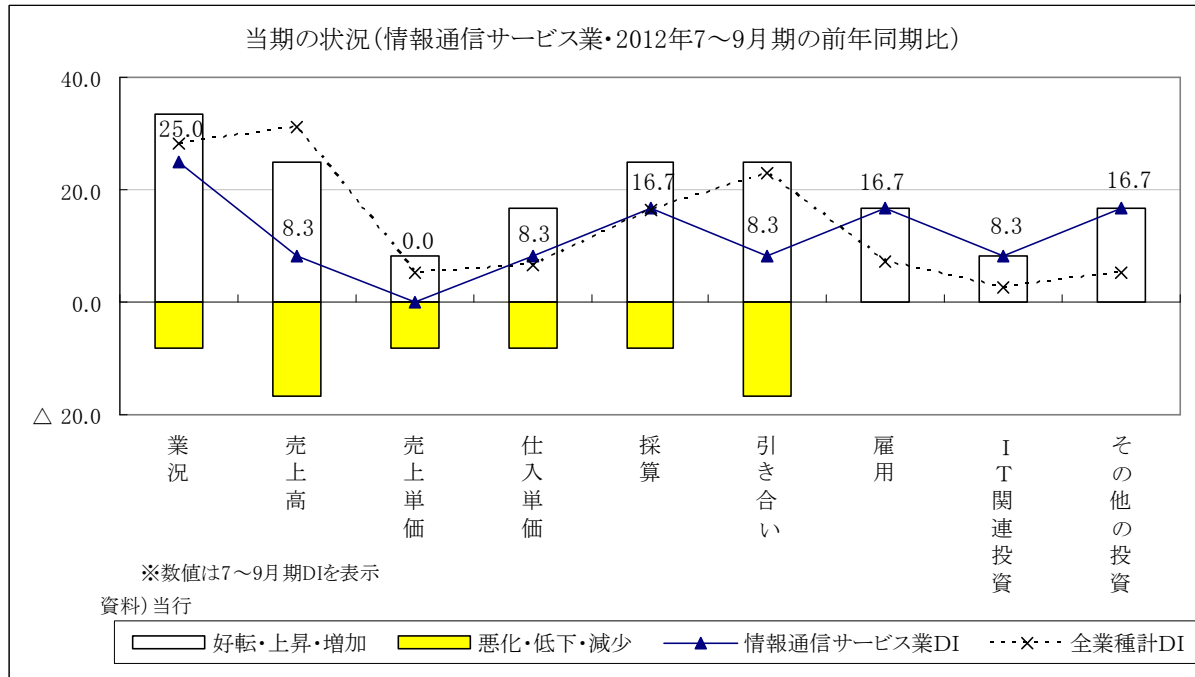
来期の見通し【小売業】DIをみると、修学旅行シーズンによる観光需要が期待されるほか、お歳暮などの年末商戦によりスーパー等で売上増加が見込まれます。一方、自動車販売業については、エコカー補助金制度終了により引き合いや採算の悪化が見込まれます。小売業全体では業況改善の動きがみられます。



7. 情報通信サービス業

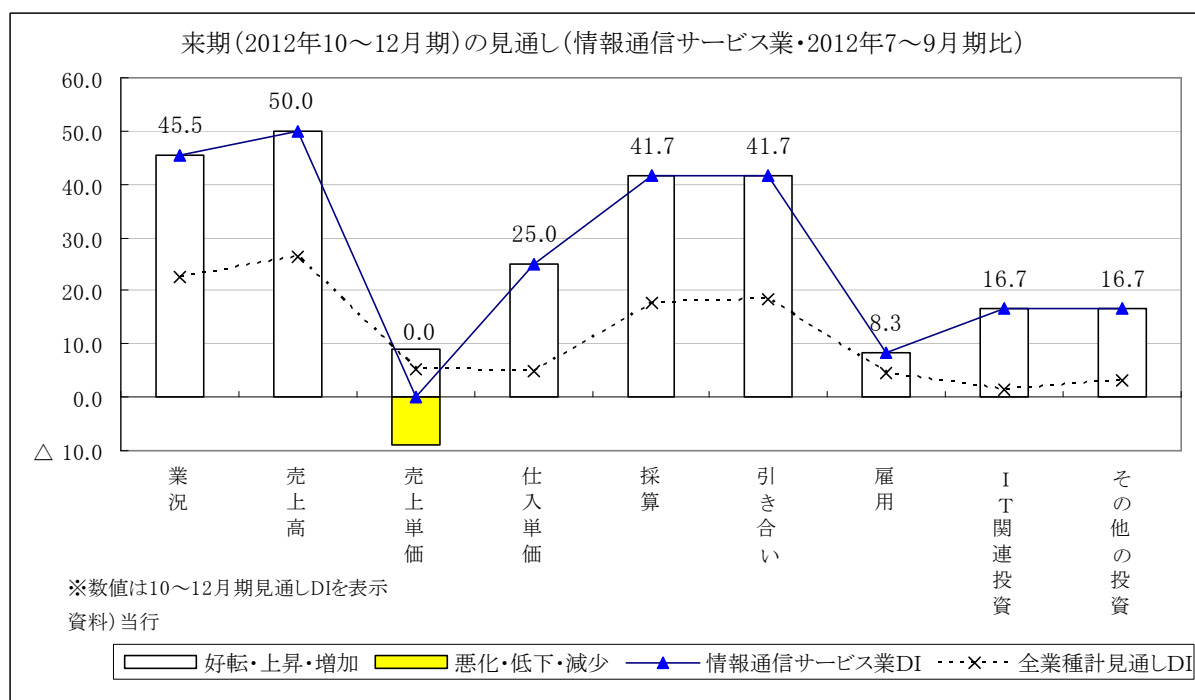
a. 当期の状況 (2012年7～9月期の前年同期比)

【情報通信サービス業】DIをみると、地公体や医療福祉関連などからの安定した受注が見られ、雇用や投資で全業種DIを上回っています。売上高(8.3)や引き合い(8.3)は全業種DIを下回っているものの、情報サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

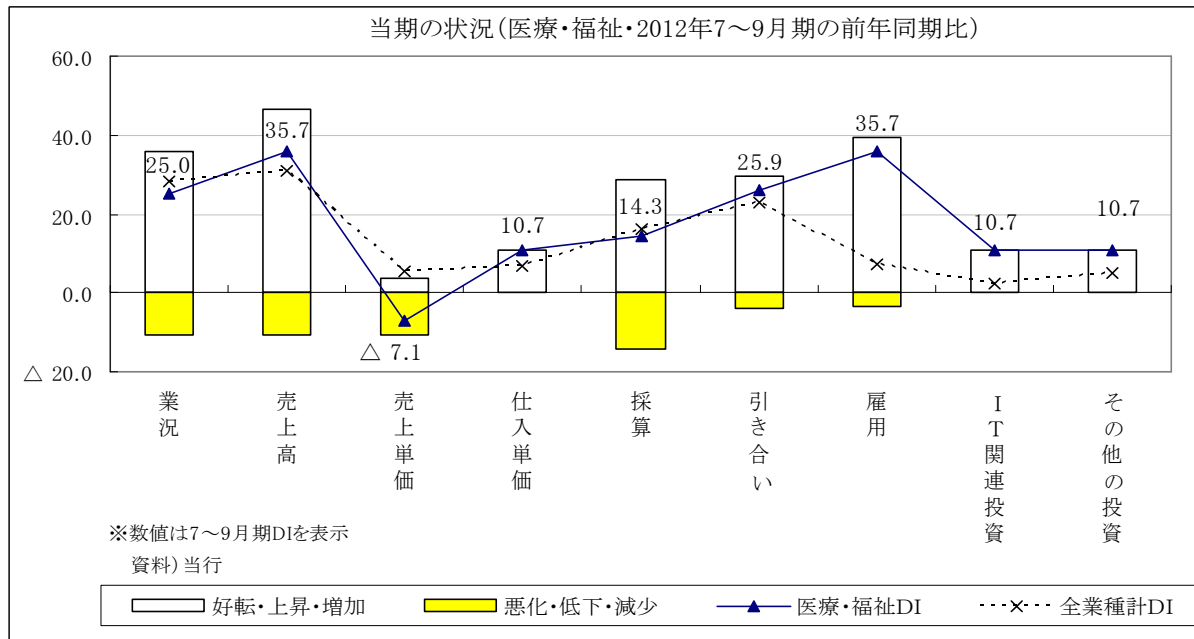
来期の見通し【情報通信サービス業】DIをみると、引続き安定した受注環境を見込みます。また、一括交付金に伴う予算増加など地公体からの更なる受注増加や、企業の投資意欲回復が期待されます。情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



8. 医療・福祉

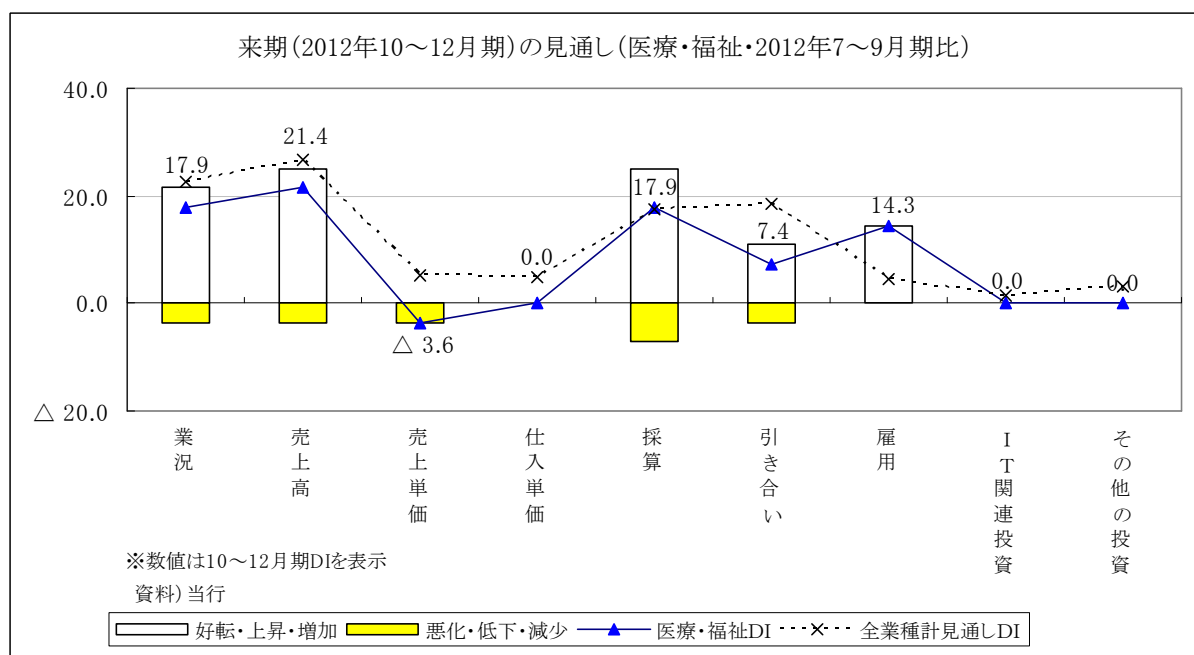
a. 当期の状況 (2012年7～9月期の前年同期比)

【医療・福祉】DIをみると、診療報酬改定により一部で売上単価減少がみられるものの、医療施設の経営は引き続き順調に推移しています。新たな診療所の開設や介護関連の事業拡大に伴う新施設稼働などにより、雇用も全業種DIを大幅に上回ります。医療・福祉全体としては**業況の堅調さ**がみられます。



b. 来期の見通し (2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

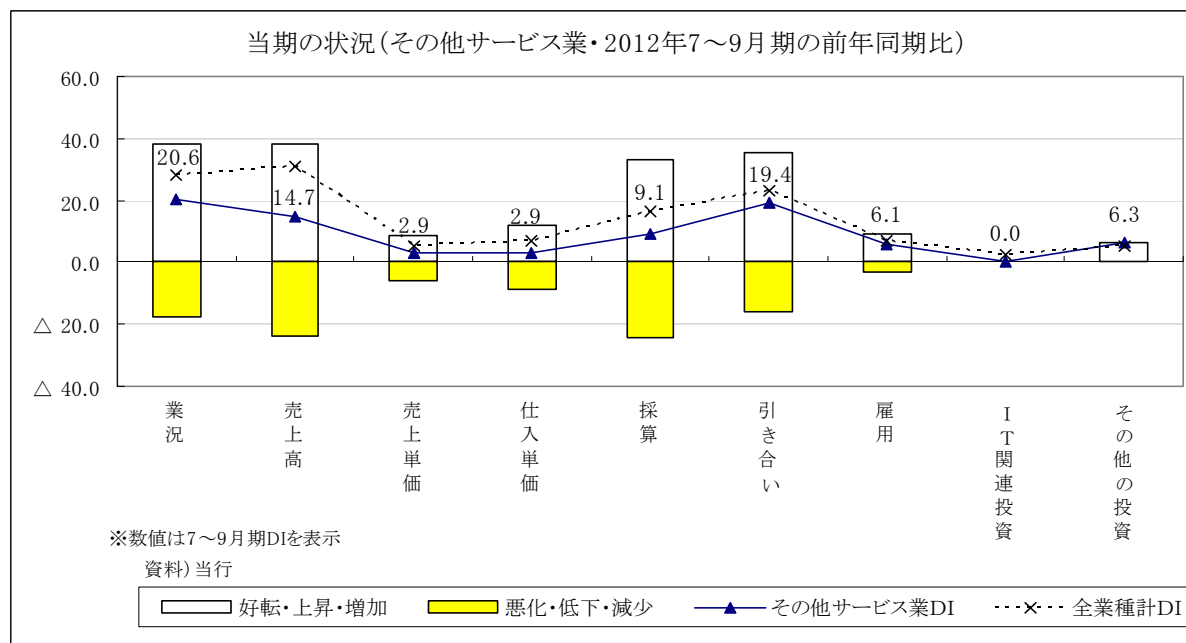
来期の見通し【医療・福祉】DIをみると、医療施設の需要は引き続き安定見込みであり、引き合いや雇用の増加が見込まれています。適正な医師数の確保や患者の送迎バス運行などにより外来患者増加を図る動きも見られ、医療・福祉全体として引続き**業況の堅調さ**がみられます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

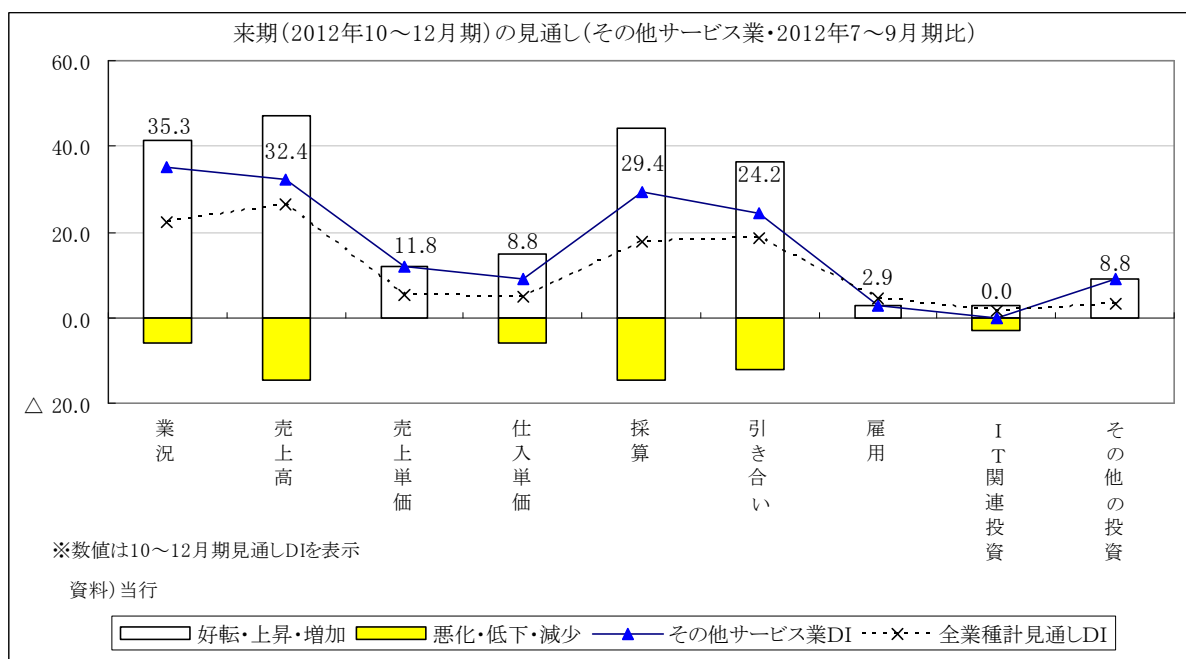
a. 当期の状況(2012年7～9月期の前年同期比)

【その他サービス業】DIをみると、観光客数の回復などにより観光関連需要が順調に推移していることなどから、宿泊業、飲食業のほか、ウェディング関連でも改善が見られます。一方で、宿泊業では競合などにより厳しい環境の一面もみられ、売上単価は僅かな上昇に留まっています。その他サービス業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b. 来期の見通し(2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

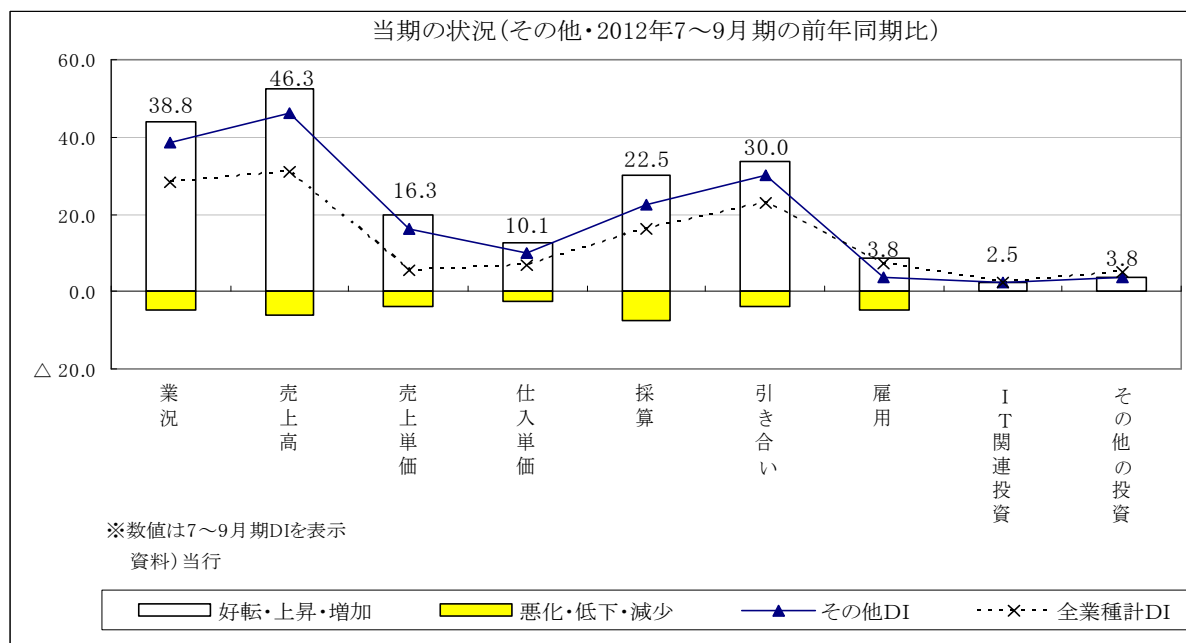
来期の見通し【その他サービス業】DIをみると、夏場の観光業界のトップシーズンによる反動減は懸念されるものの、修学旅行シーズンにより団体客を見込むなど、引き合いの強さが見られます。また、飲食業においても年末にかけてイベント(忘年会、クリスマス等)需要が見込まれ、売上高の増加が期待されます。その他サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

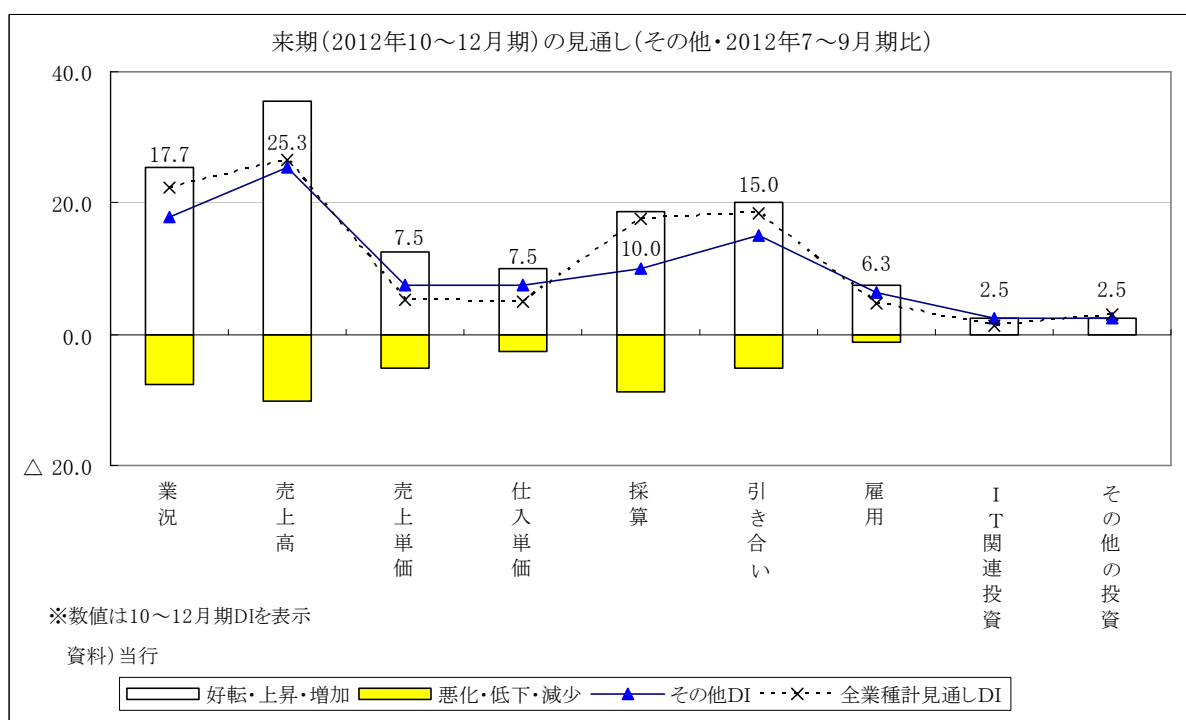
a.当期の状況(2012年7~9月期の前年同期比)

【その他】DIをみると、不動産売買業などで消費税増税に伴う駆け込み需要が見られます。また、震災の影響からの回復などにより運輸業(一般貨物・旅客)の需要が増加しています。多くの項目で全業種DIを上回り、その他全体としては**業況改善の動き**がみられます。



b.来期の見通し(2012年10~12月期の2012年7~9月期比)

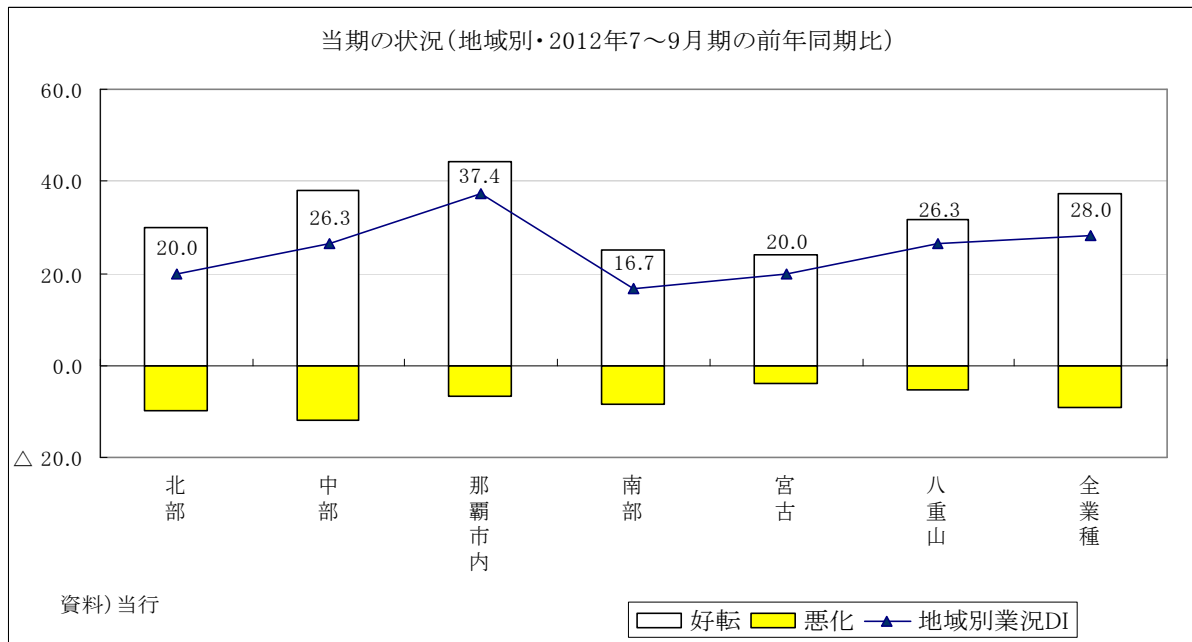
来期の見通し【その他】DIをみると、公共工事の発注増加に伴い建設関連(建築資材運送、土木・設計コンサルタント等)で引き合いの強さが見込まれます。一方、観光関連では修学旅行シーズンによる団体客の需要を見込みますが、売上単価下落や採算の悪化が懸念されます。営業強化の為に雇用を増加する事業者も一部見られ、その他全体として**業況改善の動き**がみられます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

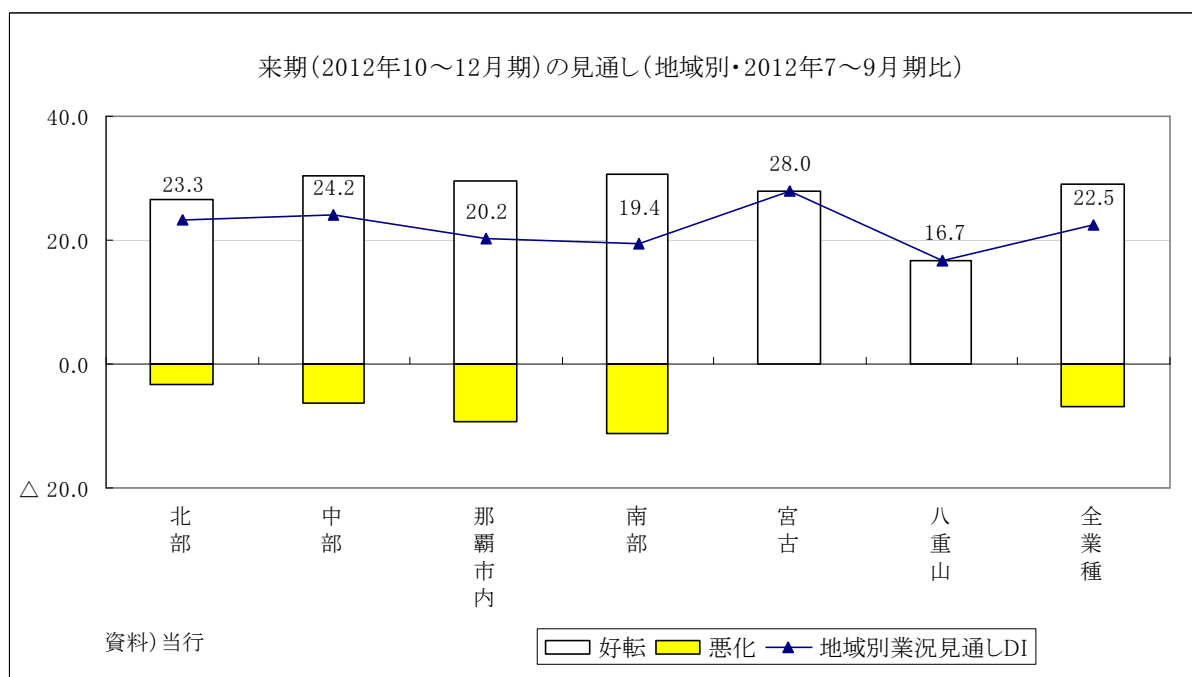
1. 当期の状況(2012年7～9月期の前年同期比)

地域別業況DIをみると、昨年影響を受けた震災からの業況回復などにより、全地域で改善の動きとなりました。中でも那覇市内は観光関連需要の高まりなどから小売業が好調であるほか、中部地区も自動車販売業などが好調で業況が大きく改善しています。



2. 来期の見通し(2012年10～12月期の2012年7～9月期比)

来期の業況見通しDIをみると、年末商戦やイベント需要などにより飲食業や小売業、泡盛製造業で好転が見込まれます。公共工事発注の増加や、消費税増税前の民間工事(住宅、アパート)の駆け込み需要などにより、建設関連や不動産関連で好転が見込まれます。修学旅行シーズンでもあることから、観光関連も好転を見込み、幅広い業種で業況改善の動きが期待されます。



IV.まとめ

【当期業況DI】

- ① 当期（2012年7～9月期）の業況DI調査の結果は前年同期比で28.0ポイントと業況改善の動きとなりました。東日本大震災からの業況回復や観光客数の増加などにより、幅広い業種で改善の動きが見られます。
- ② 観光関連（小売業、その他サービス業、その他）では、観光客数の増加により宿泊業、観光土産品、外食、運輸業などで需要が増加しました。
- ③ 建設関連（土木業、建築業）では、公共工事の減少などから厳しい競争環境にあり、一部で受注単価下落や採算悪化が見られますが、民間工事（戸建住宅、アパート、太陽光関連設備設置工事等）や基地関連工事などの需要により業況改善の動きとなっています。また、消費税増税などを背景に建築業や不動産業では駆け込み需要の増加も見え始めています。
- ④ また、小売業では、自動車販売業が政策効果などから大きく改善し、スーパー・コンビニなども新規出店効果などにより堅調に推移しています。
- ⑤ 卸売業についても震災の影響があった昨年と比べ、仕入環境が安定していることから改善の動きが見られます。

【来期の見通しDI】

- ① 来期（2012年10～12月期）の見通しDIについては、22.5ポイントとなりました。当期（2012年7～9月期）より改善されることが期待されます。
- ② 観光関連では、夏場の観光トップシーズン終了による反動減が懸念されますが、修学旅行などの団体客の需要増加などを見込み、改善の動きとなることが期待されます。
- ③ 建設関連においては、公共工事の下期発注増加が期待されます。また、民間工事の堅調な需要に加え、消費税増税に伴う駆け込み需要も見込まれます。
- ④ 小売業では、お歳暮などの年末商戦に伴う食料品需要増加が期待されます。また、飲食業においても、年末のイベント（クリスマス、忘年会等）などで需要の増加が見込まれます。一方、自動車販売業においてはエコカー補助金制度終了などから需要の反動減が予想されます。

